

第4章 基本施策の方向と取組

【基本的方向1】 ～親しむ・交わる～
文化芸術に親しむ機会の充実

基本施策1 市民が等しく文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができる機会の充実に関する施策

【取組方針】

文化・生涯学習・地域活動の拠点である各地区の公民館やコミュニティセンターをはじめとする文化施設において、地域文化の向上発展を目的とした多様な活動を推進していきます。

また、市民一人ひとりが余暇を活用して仲間と共に楽しく学習し、心身の健全な安定と生きがいを創造するために和歌山市市民大学において気軽に参加できる初心者向けの各種講座・教室を開催していきます。

さらに広い分野の講座・教室の内容を模索するとともに、各団体の文化芸術活動を支援し、地域全体を巻き込んだ絆づくりを目指します。

【主な取組】

- 公民館・コミュニティセンター活動の推進
- わかやま名所・旧跡絵画展の開催
- 和歌山市市民大学の運営



【和歌山市市民大学】

基本施策 2 青少年、高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実に関する施策

【取組方針】

ふれ愛センターや福祉交流館（あいあいセンター）において華道・茶道をはじめ、囲碁・将棋・陶芸などの幅広い分野の教室を開催していきます。

毎年こどもの日に開催している「子どもなかよしまつり・音楽大行進」をはじめとした児童・生徒の文化芸術体験および鑑賞活動を推進していきます。

令和3年10月に開催が予定されている『第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会』を契機に、障害者の文化芸術活動の活性化につなげ、障害者の生活を豊かにするとともに、相互理解が進むよう取り組みます。

【主な取組】

- ふれ愛センター活動の推進
- 和歌山音楽大行進の開催
- 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会における
「まちなか美術館」・「バリアフリー映画祭」の開催



【和歌山音楽大行進】

基本施策3 文化芸術を行う者の活動の場および発表の機会の充実に関する施策

【取組方針】

「市民文化まつり」や「和歌山市美術展覧会（市展）」、「楽しい歌声の会」などの個人や団体の活動成果の発表に対する支援を行うとともに、文化芸術活動を行う個人または団体に対し、後援や広報協力等の活動支援を拡充し、和歌山市における文化創造の機運の醸成に努めます。

また、現在建設中の和歌山城ホール（新市民会館）では、現行の市民会館以上に文化芸術に関する練習、創造、発表の場として活用していただけるよう努めるとともに、《鑑賞事業》《創造事業》《施設提供事業》《地域・産業の活性化事業》の推進に取り組みます。

【主な取組】

- 文化芸術団体の活動の支援
- 市民文化まつりの開催
- 和歌山市美術展覧会の開催
- 楽しい歌声の会の開催
- 和歌山城ホール（新市民会館）等の利用促進



【和歌山市楽しい歌声の会発表会】

基本施策 4 文化芸術を通じた世代間および国内外の人々との交流の促進に関する施策

【取組方針】

生涯学習をはじめとする地域交流活動の拠点であるコミュニティセンターを中心とした生涯学習施設の整備、充実を図るとともに、地域における文化芸術活動への支援を通じて子どもや高齢者、障害者との交流を促し、相互理解を進めていきます。また、国内の様々な文化芸術団体が集まる国民文化祭および全国障害者芸術・文化祭を契機として文化芸術団体が連携・交流を行うことにより市民の文化活動の活性化を推進します。

「和歌山市立青少年国際交流センター」や各小中学校での国際文化交流を促進し、相互交流を通して互いの文化を理解しようとする態度を育成します。国内外の友好都市との文化芸術を通じた相互交流を進め、都市交流や国際理解を深めるとともに、市民文化まつり等における様々な分野の文化芸術団体の相互交流も促進していきます。

【主な取組】

- 公民館・コミュニティセンター活動の推進（再掲）
- 第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会の開催
- 和歌山市立青少年国際交流センターの文化・芸術事業への活用
- 姉妹都市等との国際交流の推進
- 和歌山ジャズマラソンの開催



【和歌山市立青少年国際交流センター】

【基本的方向 2】 ～支える・つなげる～

文化芸術を振興する基盤の充実

基本施策 5 文化芸術に関する施設の充実および活用の促進に関する施策

【取組方針】

和歌山城ホール（新市民会館）をはじめ、多様な文化芸術の創造・発信の場としての文化施設を適切に整備・活用するなど、市民が文化芸術活動を行う環境の充実を通じて市民の文化芸術活動を支援し、文化芸術の振興を図ります。

和歌山市立博物館においては、「和歌山市立博物館基本計画」を策定中であり、今後、施設および展示の充実と利用率の向上を図っていきます。

また、復元を予定している有吉佐和子邸については、文学発信の拠点（資料館）としてだけではなく、市民・利用者の交流の場やまち歩きの拠点としても活用していきます。

【主な取組】

- 和歌山城ホール（新市民会館）の建設
- 和歌山市立博物館の充実
- 有吉佐和子邸の復元と活用
- 新和歌山市民図書館の利用促進



【和歌山城ホール完成イメージ図】

基本施策6 文化芸術に関する情報の収集、提供および発信に関する施策

【取組方針】

インターネットや「市報わかやま」など、市民ニーズに応じた多様な情報発信手段により幅広い世代に文化芸術情報が届く環境づくりを目指します。

また、文化芸術に関する情報の収集に努め、市民や文化芸術団体とそれらの情報を共有できる仕組みづくりを検討していきます。

本市で培われた「文化芸術」や「歴史的資産」・「文化財」等の文化資源について和歌山市立博物館を中心として継続的に調査・保存・研究に努めるとともに、積極的な活用を進め、一層の理解と浸透を図ります。

また、本市を訪れる様々な国からの観光客に対応するため、文化財説明板などの多言語対応についても積極的に検討していきます。

【主な取組】

- 文化芸術に関する情報の一元化と情報発信方法の検討
- 博物館事業の推進
- 博物館所蔵資料のデータベース化および画像デジタル化の促進



【和歌山市立博物館】

【基本的方向3】 ～育てる・高める～

文化芸術の担い手づくりと向上の支援

基本施策7 文化芸術活動の担い手となる人材の発掘、育成および支援に関する施策

【取組方針】

コミュニティセンターや各地区の公民館等で行われている講座や教室においては、より多くの方が参加しやすいように、各世代の関心を惹きつけるような学びの機会を提供していきます。

若手芸術家を育成するためには、まず、芸術を志す者を増やしていくことが必要であり、子どもを含めた若年層に対するワークショップや講習会などの事業を拡充し、文化芸術への興味・関心を育てるとともに、これまで文化芸術とあまりかかわりのなかった市民と文化芸術団体が交流する機会の提供を図ります。

また、本市の小・中・義務教育学校の児童生徒で、文化活動で顕著な成績を収めたものに対しては「和歌山市児童生徒文化奨励賞」として表彰し、その努力と栄誉をたたえ、文化芸術活動の一層の精励を奨励します。

若手芸術家の育成支援にも取り組み、対象者の知名度や集客力の向上ができるよう、更なる広報の強化と芸術家の協力・競演等を推進していくとともに、市民に質の高い文化に触れる機会を増やすため、ソフト、ハード両面の整備を進めます。

【主な取組】

- 公民館・コミュニティセンター活動の推進（再掲）
- 和歌山市児童生徒文化奨励賞
- 若手芸術家の育成支援



【若手芸術家支援事業 カジュアル・クラシックの夕べの様子】

基本施策 8 文化芸術の向上発展に功績のある者の顕彰に関する施策

【取組方針】

和歌山市出身者又は和歌山市にゆかりの深い者のうち、近代史及び現代史上、教育、学術、芸術、スポーツ、産業その他の分野において文化の発展に貢献し、和歌山市の名を高めるうえで顕著な功績があった偉人・先人を顕彰するとともに、その功績を紹介することにより、市民のふるさと意識の高揚につなげていきます。

また、文化芸術の向上発展に関する顕彰制度は文化芸術に勤しむものにとってその活動に対する意欲の向上と誇りの涵養につながるとともに、今後の活動への励みとなることから、特に顕著な功績のある個人や団体に対して「文化表彰」として表彰していきます。

社会の進歩、文化の興隆に功績のあった市民または市に縁故の深い者で、郷土の誇りとなるものに対しては「和歌山市名誉市民」の称号を贈り、その栄誉を表彰していきます。

【主な取組】

- 偉人・先人の顕彰
- 文化表彰
- 名誉市民制度



【和歌山市文化表彰式】

基本施策 9 文化芸術に関する教育の充実に関する施策

【取組方針】

子ども達の豊かな感性や人間性、創造力やコミュニケーション能力を育むため地域社会や学校と連携し、子どもの頃から文化芸術及び自分達が住む地域の歴史・文化に接する機会を充実していきます。

また、学校教育における幼少期の文化芸術体験は、文化芸術への興味関心を高め、のちの自発的な文化芸術活動への参加にもつながることから、音楽や図工・美術教育を充実させるとともに、国及び和歌山県、関係団体が主催する公演事業を積極的に活用し、児童生徒が具体的な体験活動を通じて文化芸術活動に親しむことができるよう取り組んでいきます。

【主な取組】

- 川端龍子賞および和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞
- 和歌山市児童生徒文化奨励賞（再掲）
- 校区子どもセンターの推進
- 各種作品展開催の支援
- 「校区探検」の実施
- 和歌山城公園写生大会の開催



【和歌山城公園写生大会表彰式】

【基本的方向 4】 ～伝える・創る～
地域文化の継承と発展の支援

基本施策 10 文化財等の保存および活用に関する施策

【取組方針】

和歌山城をはじめとする、代々受け継がれてきた建造物、美術工芸品、民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物、埋蔵文化財など各種の有形・無形文化財等の文化芸術資源の調査・研究を行い、貴重な文化遺産の適切な継承・活用に取り組みます。また和歌山市の豊かな自然、歴史、文化をより多くの市民が理解し、郷土愛を醸成していくため「和歌山市文化財ホームページ」をはじめとした本市の歴史への関心を高める情報発信に取り組んでいきます。

また、平井地区に設置予定の平井複合施設内に、歴史資料室を設置し、和歌山市立博物館とともに歴史学習の場としていきます。

【主な取組】

- 扇の芝の整備
- 文化財の調査・研究、保護、活用の推進
- 平井複合施設の整備
- 日本遺産や歴史的風致維持向上計画で対象となる文化財の整備支援



【和歌山城】

基本施策 1 1 地域において特色のある伝統的な文化芸術の継承および発展に関する施策

【取組方針】

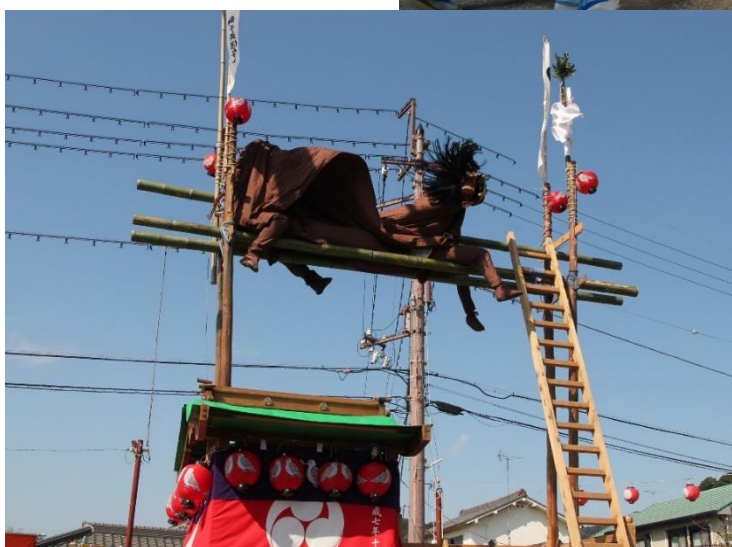
次代を担う子ども達が、学校や地域活動を通じて、代々受け継がれてきた地域の伝統芸能に触れる機会を充実するとともに、伝統芸能を継承する団体への支援に努めます。

また、観光資源としても積極的に活用することで多くの市民に郷土の文化遺産を知っていただき、その関心や愛着を醸成するとともに、それらを未来へ引き継いでいくことを目指します。

【主な取組】

- 伝統技法・芸能等の保護・継承の支援
- 無形民俗文化財等の調査・保存・育成

【団七踊】



【木ノ本の獅子舞】

【地域の活性化（まちづくり）】

基本施策 1 2 文化芸術の活用による地域の活性化に関する施策

【取組方針】

令和3年10月に予定されている『第36回国民文化祭・わかやま2021』に向け、市民自らが主体的に取り組む文化芸術の創造、表現活動を発表する場を提供することにより、文化活動への参加の意欲を喚起するとともに新しい芸能、文化の創造を促していきます。

『第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会』では商店街の店舗やカフェ等を利用した「まちなか美術館」を開催し、障害者の作品の発表機会の充実を図るとともに地域の活性化を目指します。

加太地域では、青少年国際交流センターを拠点に、加太芸術村など先導的な文化芸術活動を推進し、市民が文化芸術に触れる機会をより身近なものにするるとともに、地域がもつ潜在的な魅力に文化芸術という新たな魅力を加えることで加太地域の魅力を高め、地域活性化につなげていきます。

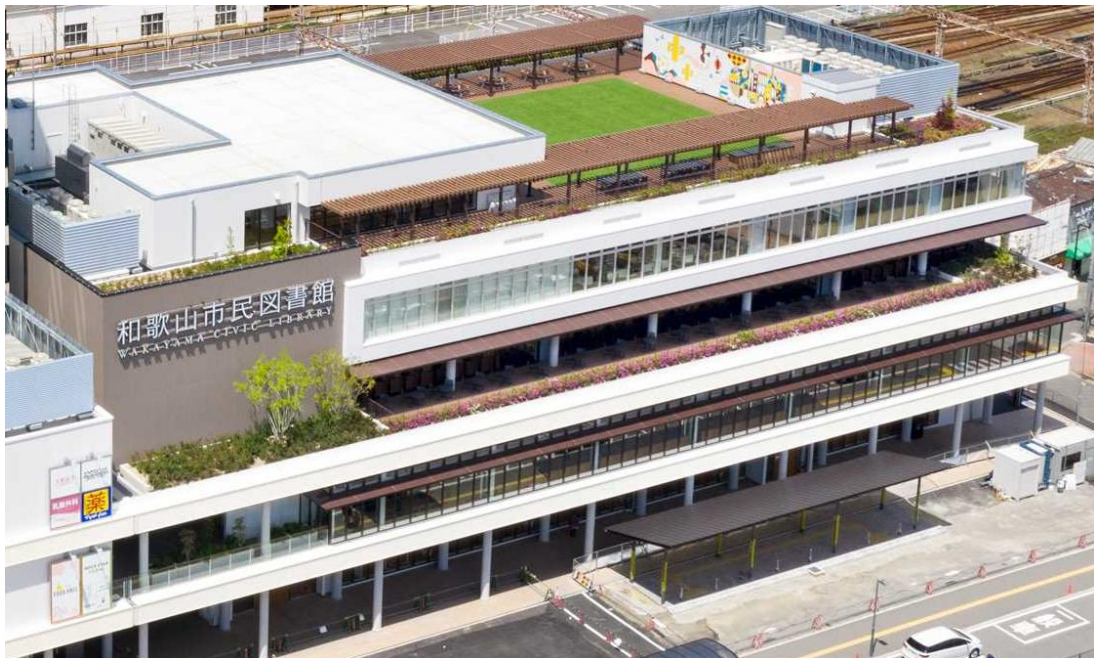
和歌山市駅周辺地域においては、和歌山市立博物館、復元予定の有吉佐和子邸、新市民図書館があり、わかやま歴史館とあわせて「まち歩き」のネットワークを形成します。各施設や地域と連携、情報共有し地域の活性化を図ります。

【主な取組】

- 第36回国民文化祭・わかやま2021の開催
- 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会における「まちなか美術館」・「バリアフリー映画祭」の開催（再掲）
- 加太地域における文化・芸術をテーマとした魅力向上
- 和歌山市駅周辺地域の活性化
- 観光誘客に向けた文化資源（紀州おどり・和歌祭・市民茶会・万葉薪能など）の活用
- 日本遺産の魅力発信



【加太芸術村での演奏会の様子】



【新市民図書館】